年間授業計画　新様式例

高等学校　令和8年度（2学年用）　教科　　国語　　科目　国語演習

教　科：　国語　　科　目：　国語演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　選択者

教科担当者：　　森本

使用教科書：（『言語文化』（大修館書店）・『プログレス古文総演習基本編』（いいずな書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】文章を読むために必要な単語・文法の知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現する。

【学びに向かう力、人間性等】国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

科目　国語演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。	古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。	わが国の言語文化に関する理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・活用形 ・動詞	・活用形について学ぶ。 ・正格活用動詞について学ぶ。 ・ワークの読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	・動詞 ・形容詞・形容動詞	・変格活用動詞について学ぶ。 ・形容詞・形容動詞について学ぶ。 ・ワークの読解問題に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	・助動詞	・助動詞について学ぶ	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	助動詞	・助動詞について学ぶ	○	○	○	【知識・技能】 古文を読むために必要な単語・文法の知識を修得している。 【思考力・判断力・表現力】 文章の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性】 自ら進んで古文に親しもうとしている。	○	○	○	10

	定期考査						○	○		1
	・助詞	教材『源氏物語』 「桐壺」 ・宮中及び平安貴族の暮らしについて理解を深める			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に描かれた宮中の暮らしぶりについて知り、様々な争いの中で生きていかなければならない貴族たちの心情に迫ろうとしている。				5
3学期	・助詞	教材『源氏物語』 「若紫」 ・当時の恋愛の方法や和歌の効果について理解を深める			○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に描かれた貴族の恋愛の始め方を理解するとともに、そのうえで必要になる和歌に対して親しもうとしている。				8 合計 53